

第29期

文楽(太夫・三味線)研修生募集

人形浄瑠璃文楽は、太夫の語りと三味線弾き、人形遣いの三業が心をあわせて1つの舞台を作り上げる総合芸術です。

江戸時代初期に大坂で生まれ、いつの時代も変らぬ人間の情を舞台で表現してきました。

今日ではユネスコの「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されています。

しかし、文楽の舞台で活躍する技芸員(太夫・三味線弾き・人形遣い)のうち約半数が、

文楽研修修了者であることをご存じの方は少ないかもしれません。

あなたの未来を、この芸能に託しませんか。

文楽 研修

文楽の技芸員になるための基礎教育を行うことを目的に、昭和47年(1972)に財団法人文楽協会(現・公益財団法人文楽協会)の協力を得て開始しました。

文楽への理解を深めるため、研修生は、まず全員が太夫・三味線・人形の基礎を学びます。そして、適性審査の後、各専門分野にわかれて、より実践に近い技芸を習得していきます。

研修修了後は、幹部技芸員に入門して公益財団法人文楽協会に技芸員として所属し、舞台を勤めることになります。

今回は、太夫・三味線の専攻希望者を募集します。

- 研修期間 平成31年4月から平成33年3月まで(2年間)
- 研修時間 原則として、平日午前10時から午後6時まで。但し、2年次は実技習得のため土日祝日や午後6時以降に研修がおよぶことも多くあります。
- 研修場所 主に国立文楽劇場で行います。年4回の文楽の東京公演時は国立劇場(東京都千代田区)で行います。
- 研修科目 太夫・三味線・人形の基礎、舞台実習、公演見学のほか、技芸員になる上で必要な箏曲・胡弓・謡・狂言・日本舞踊・作法・講義(人形浄瑠璃の歴史、演目等)などを受講します。但し、適性審査後は専攻(太夫・三味線)に即した科目を中心に受講します。
- 適性審査 研修開始後8ヶ月以内に適性審査を実施します。合格者は、専攻(太夫・三味線)を決定します。不合格となった場合は、研修生の身分を失います。
- 受講料 無料
- 宿舍の貸与制度があります。(審査あり、有料)
- 適性審査合格者には研修期間中、伝統芸能伝承奨励費の貸与資格が与えられます。

太夫



太夫は、登場人物すべての台詞・心理・動作などを1人で語り分け、物語を展開していく重要な役割を担っています。

専攻課程では、義太夫節独特の発声法や的確な表現の習得をめざして、様々な曲目を履修します。

三味線



文楽では、太棹と呼ばれる三味線を用います。三味線弾きはその太く低い響きにより、浄瑠璃の感情を表現します。

専攻課程では基本奏法の習得に加え、音色で感情を表現することを学んでいきます。

人形



文楽では、一体の人形を主遣い・左遣い・足遣いの3人で操ります。3人のイキがひとつになって初めて、流れるような美しい演技が生まれるのです。

(今回は人形の専攻希望者の募集はありません。)

国立文楽劇場ホームページで文楽の歴史や解説をご覧いただけます。

<http://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/modules/learn/> [文化デジタルライブラリー:舞台芸術教材で学ぶ]

応募受付

募集期間

- 第1次募集 平成30年 8月28日(火)から10月4日(木)まで
 - 第2次募集 平成31年 1月4日(金)から 2月4日(月)まで
- ※上記期間の平日 午前10時～午後6時

選考試験

- 第1次募集分 平成30年10月下旬 予定
 - 第2次募集分 平成31年 2月下旬～3月上旬 予定
- 募集要項・応募書類の詳細、所定用紙のダウンロードは
国立文楽劇場ホームページ
<http://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee.html>
[養成事業—研修生募集]をご覧ください。

